

## 水性反応硬化形エマルションペイント

## 水性セラマイルド つや有り

系 統 特殊アクリル樹脂系エマルションペイント

適用規格 JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルションペイント

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

### 特 長

- 1) 水性塗料で臭気が少なく、引火や溶剤中毒の心配がなく、安全衛生など取扱いが容易です。
- 2) 仕上がり肌、肉持ち感に優れ、優雅でシックな仕上がりが得られます。
- 3) 乾燥性に優れます。
- 4) ハケ塗り、ローラー塗りなど塗装作業性に優れます。
- 5) 耐水性、耐アルカリ性に優れます。
- 6) 耐摩耗性に優れ、洗浄時の塗膜耐久性が良好です。
- 7) 防カビ・抗菌性を有します。
- 8) 一般的なエマルションペイントに比べ、汚れ除去性に優れています。
- 9) 透湿性に優れています。
- 10) ヤニ止め性を有します。
- 11) 防火材料認定品(JASS18の仕様に準拠)
  - NM-8585(塗料塗装/不燃材料)
  - QM-9816(塗料塗装/準不燃材料)
  - RM-9364(塗料塗装/難燃材料)
- 12) F☆☆☆☆表示製品です。

### 塗料性状

※上記JIS規格は、つや有りのみに適用されます。

項 目	内 容
1 荷 姿	4kg、16kg
2 混 合 比	—
3 色	白及び各色
4 つ や	つや有り
5 仕 上 が り 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.25
7 溶 剂 比 重	1.00 (上水)
8 加 热 残 分	57%
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	—
12 消 防 法 に よ る 危 險 物 区 分	非危険物
13 硬 化 剂 の 成 分 に よ る 区 分	—

注)上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

### 塗装条件

塗装方法	ハケ	ローラー			
希釈率	5~10%	5~10%			
標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0.13	0.13			
希釈剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。  
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

### 塗装間隔

温 度		23°C	
項目	最 短	2時間	
	最 長	7日	
使 用 時 限			—

### 主な適用素材

コンクリート、モルタル、木部、石膏ボード、ケイカル板

### 主な適用下塗塗料

EPシーラー、ストップシーラー、エコカチオンシーラー、アレス水性ケイカルシーラー、アクアグランドコートII

### 主な適用中塗塗料

### 主な適用上塗塗料

### 使用上の注意事項

- 1) 開缶後よくかきませて、中身を均一にしてから使用して下さい。
- 2) 性能を発揮する塗膜を形成するのに必要な最低造膜温度があり、5°C以下、高湿(80%RH以上)での塗装は避けて下さい。
- 3) ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上がり肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますので、ご留意ください。
- 4) 黄、赤、青、緑系のやれた色で仕上げる場合は、隠蔽性を上げるために、1層目と共に色で塗装して仕上げることをお勧めします。
- 5) 濃色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
- 6) 降雨や結露等により塗膜表面に粘着物が発生する恐れがあります。著しい結露が予想される場合は、溶剤系塗料での施工をお勧めします。
- 7) ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向で揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 8) 防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理をしてから塗装してください。
- 9) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。